

JOBURG EXPRESS

ヨハネスブルグ日本人学校 中島緑郎

学校での子どもたちの様子を中心に紹介します。

前回は学校の施設を中心にお伝えしましたが、今回は日本人学校の児童生徒がどんなことをしているのか、をお知らせしようと思います。前任校の瓜幕小も乗馬やカヌーなどいろいろな体験のできる学校でしたが、ここヨハネスブルグ日本人学校も南アフリカならではの、という体験がたくさんできます。



5 月には遠足がありました。毎年行く先は変わるのですが、今年はヨハネスブルグ動物園です。もっとも危険といわれるダウンタウン地区からほんの数 km の所にある動物園ですが、園内は全く問題なし。小学 1 年生から中学 3 年までが縦割り班になって、英語のクイズ・ラリーをしながら園内を回りました。

普段は治安の関係で子どもが外で買い物などできないので、お小遣いを持たせて英語で買い物もさせました。



地元の学校との交流学习もありました。IR・グリフィス校というプライマリー・スクール(日本の小学 1 年から中学 2 年までが通う)と、年間 3 回の交流を持っています。1 学期にはお互いの学校を訪問しあい、一人に一人ずつ決まっているパートナーを伴いながらいろいろなアクティビティーで楽しみました。白人も黒人も関係なく仲が良く、教育の底力を改めて感じました。イギリス文化圏なので制服が決まっています。でも体育もこのままやっていたのにはびっくり。



避難訓練もありましたが、地震のないこちらでは①バスジャック対応、②暴動対応、③火災対応の訓練を行います。日本大使館付きの警備担当官も来て細かな対応を学びます。

見学学習では W 杯開会式の会場となるサッカーシティ・スタジアムを見学。まだ工事中でしたが、隣にある南ア・サッカー協会を訪問し、英語でインタビューをしました。なんと、W 杯組織委員会最高責任者のジョーダーン氏とも会うことができました。この人、これから TV や新聞にたくさん出ると思うので、顔を覚えておいてください。



自慢ついでに。先日 TBS 系 TV『走れ！ポストマン』の取材がありました。私も映った模様。あと、南アを会場に 6 月に行われたサッカーのコンフェデレーションズ杯を、職員研修と称して観戦してきました。予選のイタリア - ブラジル戦、決勝のアメリカ - ブラジル戦を見ましたが、イタリア - ブラジル戦はイタリアベンチのすぐそばの席。下の写真は私が撮ったのですが、生ブフォンと生ピルロ、後ろにはカカがいます。ベンチのデルピエロとガッツォーニには手が届きそうでした。サッカーファンには夢のよう？

会場のエリスパーク競技場で。



To Be Continued !

